

4. 障害者支援

これまで本県は、障害福祉サービス、相談支援及び地域生活支援事業の提供体制を整備し、自立支援給付や地域生活支援事業の円滑な実施を確保することを目的として、具体的な数値目標及び目標達成に向けた取組を定めた愛知県障害福祉計画を策定してきました。

平成 30（2018）年 3 月には、「全ての県民が、障害の有無にかかわらず、等しく基本的人権を享有するかけがえない個人として尊重され、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する地域社会」の実現を基本理念とした第 5 期の愛知県障害福祉計画を策定しました。

障害のある人の自己決定の尊重と意思決定の支援に配慮しながら、県内どこでも必要な訪問系サービスが利用でき、ニーズに応じた日中活動系サービスが利用できるよう取り組みます。また、福祉施設入所者の希望を踏まえた地域生活への移行を進めるとともに、支援に関わる人材の育成や相談支援体制の充実など、地域生活支援のためにシステムづくりを進めます。



（１）特別支援教育の充実

平成 26（2014）年度に策定した「愛知県特別支援教育推進計画」に基づき、特別支援学校の規模の過大化による教室不足や長時間通学の解消、幼児児童生徒の障害の重度・重複化や多様化への対応、通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある幼児児童生徒への適切な支援・指導の在り方など、様々な課題に取り組み、一人一人の教育的ニーズに応じた支援・指導の充実を図りました。

平成 29（2017）年度の主な取組

- 県内幼稚園、小・中学校の特別支援教育コーディネーター49 名を対象に、講義及び研究協議を実施しました。
- 西尾市において、通常の学級に在籍する発達障害等の児童生徒に対する支援・指導方法の研究を行いました。
- 市町村の特別支援教育を担当する指導主事等の会議や各種研修等において、障害者権利条約等の趣旨の周知に努めました。
- 知的障害特別支援学校の教室不足を解消するために、県単独、または市町村と連携して、特別支援学校の整備を進めており、平成 29（2017）年度は、大府もちのき特別支援学校及び瀬戸つばき特別支援学校の建設工事を行うとともに、西三河南部地区に新設特別支援学校を整備するための調査を実施しました。



瀬戸つばき特別支援学校（イメージ）

- 医療的ケアの充実を図るため、県立特別支援学校に配置している非常勤看護師を 5 名増員しました。

（２）障害のある人の地域生活支援と療育支援

障害のある人が望まれる地域生活への移行を進めるには、地域における多様な受け皿の整備が必要になります。グループホーム等の住まいの場の確保や、日中活動の場の確保、地域における理解の促進に向けた取組を進めました。

また、障害のある子どもの健やかな育成を図るため、障害児支援の提供体制の整備を行いました。

平成 29（2017）年度の主な取組

- 障害のある人が住み慣れた地域で自立した生活をするためには、グループホーム等の住まいの場の確保が重要です。既存の戸建て住宅を有効に活用し、障害者のグループホームの設置を促進するために策定した取扱要綱に従い、相談の対応及び協議書の確認を行いました。（相談件数：11 件、協議完了件数：3 件）
- 視聴覚障害のある人を始めとした障害のある人が円滑に情報を取得・利用し、意思表示や他人との意思疎通ができるように、聴覚障害者情報提供施設「あいち聴覚情報センター」の民立での設置・運営を支援しました。

意思疎通支援者等の養成・派遣

手話通訳者の養成等 65 名
要約筆記者の養成等 29 名
盲ろう通訳介助員の養成等 37 名
手話通訳者の派遣 2927 件
要約筆記者の派遣 265 件
盲ろう通訳介助員の派遣 1022 件

情報機器の貸出 243 件

聴覚障害者等への相談 243 件



- 各保健所において、難病患者・家族を対象にした患者家族教室の開催、在宅難病患者を対象に療養支援計画の策定・評価、保健師等による要支援患者の訪問相談などを実施しました。
- 障害者福祉減税基金を活用し、信愛医療療育センター（豊川市 64 床、社会福祉法人明世会）の建設工事費及び開所準備経費に対する助成を行いました。

（３）地域における就労支援の充実

障害のある人が、自立した地域生活を安定的かつ継続的に営むことができるよう就労支援を行いました。

労働・教育・医療等の関係機関と民間企業等が連携を密にし、就労支援策や職域の拡大を検討するとともに、障害のある人や家族に対して一般就労や雇用支援策に関する情報の提供を行いました。

平成 29（2017）年度の主な取組

- 精神・発達障害者の雇用を促進するため、障害者向け交流会（8回、参加者81人）、企業向け勉強会（3回、参加者37人）、面接会（1回、企業19社、求職者46人）を開催しました。
- 名古屋、岡崎の高等技術専門校で知的障害者を対象とした職業訓練を新設し、訓練を実施しました。
- 多様な委託先を活用し、障害者のニーズに対応した、知識・技能の習得、実践能力の訓練、在職者の訓練を実施しました。



- 就労アドバイザーを引き続き県立高等特別支援学校2校に1名ずつ配置し、就職率の向上を図りました。

また、就労アドバイザー及び進路指導を担当する教員が企業等を訪問する際に分かりやすく説明するための映像資料を作成し、動画を収めたタブレット端末を、特別支援学校及び就労アドバイザーに配付しました。
- 個別の授産業務に関する専門家（工賃向上アドバイザー）を10事業所へ派遣し、技術的指導を実施しました。

また、就労に必要な知識・技能の向上を図るために、農業分野との連携による工賃向上事業を実施しました。

（４）障害のある人の活躍の場の拡大

芸術文化活動やスポーツ活動は、障害のある人の社会参加と自立の促進はもとより、作品の創作や鑑賞、競技観戦を通して、障害の有無を超えた交流の機会となり、障害に対する理解を促進することにつながります。

芸術文化活動の広がりにより、企業との連携や雇用分野の拡大にもつなげることができました。

平成 29（2017）年度の主な取組



- 「あいちアール・ブリュット障害者アーツ展」において、公募作品 670 点の展示と合わせ、舞台・ステージ発表、トークイベント等を開催しました。また、公募作品から審査で選ばれた 30 点を「優秀作品特別展」で展示しました。
- 県内 5 施設で、ダンス、美術（絵画、陶芸等）の出前講座を開催しました。また 3 月の「優秀作品特別展」で作品を展示しました。
- 障害者の体力増強と既存機能の維持等を図り、社会参加の促進と障害への理解と関心を高めるため、愛知県障害者スポーツ大会を開催しました。（参加者：1,180 人）
- 都道府県・政令指定都市の障害者（身体・知的・精神）が参加する全国障害者スポーツ大会へ本県選手団を派遣しました。（派遣人数：173 人）
- 障害者スポーツの体験 ふれあい交流 2017 を開催し、本県ゆかりのトップレベルの指導者や選手が講演や実技指導を実施しました。（参加人数：649 人）
HAL名古屋と協力し、リーフレットデザインを学生に公募し、作成しました。

(5) 社会全体で支える環境の整備

全ての県民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、意思や感情を伝え合い相互理解を図るためには、差別の解消や権利擁護を推進していく必要があります。

社会的バリアを除去し、障害の有無に関わらず安心して暮らせる環境の整備に向けた取組を進めました。

平成 29（2017）年度の主な取組

- 障害者差別解消推進条例を推進するため、市町村実務担当者会議（２回）や、市町村職員向け研修（６４６名参加）を開催しました。また、障害者差別解消支援地域協議会（２回）を開催し、必要な情報の交換、相談事例を踏まえた差別解消のための取組に関する協議を行いました。
- 平成 29（2017）年 10 月に執行された第 48 回衆議院議員総選挙で、点字による候補者名簿の各投票所への備え付けなど候補者情報の提供の充実に努めました。また、投票所のバリアフリー化を図る等、投票環境の向上のため各市町村に協力を求めました。

【豊田県 平成20年度「障害児と障害者に対する県民理解促進事業」】

私たちは、様々な人々と一緒に地域で暮らします。
少し意識して街を見てみると、外国語の子ども
たちが学校で学んでいる！、高齢の方が買い物して
いきなり、障がいのある人が喫茶店で働いている！
と様々な人々の生活があることがわかります。
今回は、障がいのある人の生活についてアンケートを当
てています。障がいのある人もいい人です。その人
が、その人らしく地域で暮らしていくためにどうす
ればいいのか、街を通してみんなで考えてみましょう！

日時 12月3日(日)
11:00~16:00(11:00-受付
まで)

会場 豊田市福祉センター1階 ホール
〒471-0877 豊田市福祉センター
200号(手話通訳・要約筆記あり)

定員 11月24日(金)前 定員定額100名(先着順)

資料代 300円

「劇団・笑劇派」による劇の上演

「劇団・笑劇派」は、豊田を拠点に近辺各地の学校や自治会
などで、若く芽生えた才能に磨きをかけ、才能を磨き上げ、社会的
経験と新感覚芸術の両面に貢献するお笑い集団。

参加は、今年3月~9月まで、豊田市を主戦場とする地場産品の
販売に協力し、いよいよ来年はシアター・東条を劇場に、障がいのある人
の生活や、障がいのある人と暮らすための工夫と笑劇派の活動に
関する、様々なテーマに、関心を持ちましょう

「劇団・笑劇派」のメンバー

西三河エリアの福祉事業所が出店するマルシェを開催！！

お申込み・お問い合わせはこちら
自立生活センター
TEL 053-911-1117 FAX 0565-32-9511

・近隣：自立生活センター前
・近隣：豊田南 平成20年度「障害児と障害者に対する県民理解促進事業」
・協力：劇団・笑劇派
・後援：豊田市、豊田市社会福祉協議会、豊田市福祉事業所

- 障害についての知識及び理解を深めることを目的として、地域に密着した活動を行っているNPO法人等から企画内容を募集し、優秀な提案をした法人に委託をする形で、県民理解促進事業を実施しました。（4 団体に委託。尾張東部、西三河北部、西三河南部、東三河南部地域で実施）
- 車椅子の子供たちのための福祉衣料の開発や、乗り心地を重視した車椅子のノーパンクタイヤの研究開発を支援しました。

- 県の窓口に寄せられた消費生活相談の傾向を分析した「あいちクリオ通信」を毎月発行（12回）するとともに、早急に注意喚起が必要な案件を消費者注意情報としてWEBで発信（14回）しました。